

事故の記録

出力サンプル

作成日	令和 8 年 6 月 18 日
運転者の氏名	軽ナビ 一郎
車両番号	品川 500 り 012A
事故の発生日時	令和 8 年 6 月 18 日 10:30
事故の発生場所	東京都〇〇区〇〇町
事故の概要	
当時の状況	当日は晴天で、視界は良好だった。東京都〇〇区〇〇町付近において後退（バック）する際、周囲の確認が不十分だったため事故が発生した。この事故によるけが人はいなかったが、自車後部および相手車両前部が損傷した。 ※いつ、どこで、だれが、どのような事故を起こし、結果どうなったかを記載。けが人や物損があった場合はその内容を記載。
事故の種類	接触 ※物損、人身事故等。物損であれば何とぶつかったのかを記載。 ※別紙「事故の種類」を記録することでも良い
道路等の状況	乾燥 ※片側〇車線の見通しのいい高速道路、雨で路面が濡れている片側〇車線の一般道路、つづら折りの急な下り坂である片側〇車線の山道、等の道路の状況を記載 ※別紙「道路等の状況」を記録することでも良い
当時の運行計画	発地：軽ナビ配送センター（東京都〇〇区〇〇町） 経由地：軽ナビ倉庫（東京都〇〇区〇〇町） 着地：軽ナビ荷捌き場（東京都〇〇区〇〇町） ※発地、経由地、着地について記載
損害の程度	自車後部および相手車両前部に軽微な擦過傷。負傷者なし。 ※損害の軽重、事故相手及び自社、積み荷や道路標識などの損害の程度を記載
事故の原因	後退時の後方確認不足。 ※わき見運転、居眠り運転、漫然運転、速度超過、車間距離不足、追い越し、出会い頭、後退、灯火無視、その他
再発防止対策	今回の事故を踏まえ、以下の再発防止策を講じる。 - 安全確認の徹底 - ミラー確認の徹底 - ドライブレコーダー映像の確認・活用 また、後退時の安全確認手順に関する社内教育を実施する。 さらに、死角がある場合は誘導者を配置する。 これらの対策は直ちに実施する。 ※再発防止に向けた対策を記載

① 概要を1枚に整理

発生日時や場所、当時の状況をまとめて確認できます。

② 提出帳票にも対応

重大の事故は、国交省提出用の報告様式で作成できます。